

## 適用、一部

### 適用例

#### 主要な原理

turbivoは作動容積内を摩擦なしで機能し、以下の要素に対応します。

- 低、中、高圧
- 低、中、高温

内部の潤滑油なしで機能する密閉型のマシンです。

一般に、種々のコンポーネントを追加することにより、Turbivoは以下の分野に適用できます。

– ガス流体ポンプやコンプレッサー、空気、酸素、窒素、都市ガス、メタン、プロパン、化学物質、

- 非負荷液体用ポンプ水、油、ワイン、アルコール、石油、重油、軽油、ガソリン、化学物質、香水、

– 建築現場や石切り場、農業機械、トラックなどに搭載されている起重機の油圧、圧縮空気機械、

- 外燃機関、地上、海上、航空などの交通機関。Turbivoはサイズの違った二つあるいは複数のTurbivoを共通の同軸にまとめることができます。

一例、

- 多段コンプレッサーとして違った直径のシリンダを二つあるいは複数使用し、一体化することができます。

違った直径の二つのTurbivoを一体化します、一つはコンプレッサーとして、もう一つは減圧機として機能し、全体で外燃機関を構成します。これらの場合、少なくとも熱交換器と不可欠な補器なしで燃焼室を分離しなければなりません。

作動容積内を無摩擦で機能するTurbivoは、機械的な損失は非常に低くなります。軸のベアリングおよび動伝導で発生する摩擦のみに限られます。

内燃機関に関しては、ジュールサイクルにより機能するため、冷却システムや排気システムを必要としません。

現在の排気システムや冷却システムによる損失の大半はメカニックエネルギーに転換されます。

\*\*\*\*\*